

# Cisco HyperFlex Cleanup ガイド





- ・当資料は下記のドキュメントを基に作成しております。
   HyperFlex Customer Cleanup Guide Fl v2.pdf
   <a href="https://community.cisco.com/t5/-/-/ta-p/3896668">https://community.cisco.com/t5/-/-/ta-p/3896668</a>
- ・本手順は HX Cluster の再インストールを目的としております。
- ・本手順を実施する前に、必要に応じて、すべてのVMとデータがバックアップ されていることを確認して下さい。
- 本手順を実行することで、既存HX Clusterに対してHyperFlexを再デプロイすることが出来ます。これは、ノードから全てのHXコンポーネントを削除するのではなく、再インストールを容易に実施出来るようシステムをリセットすることになります。
- ・HX EdgeのCleanup手順については、本ドキュメントの対象外となります。



- ・ESXiライセンスの確認
  - PAC (Partner Activation Code) ライセンスをご利用の場合、本Cleanup手順を 進めて問題ありません。
  - HyperFlexノードにESXiライセンスがインストールされた状態 (OEMキーを 使用) で工場出荷された場合、本ガイドの利用を続けないでください。対 応について、TACまでご連絡ください。
  - ESXiライセンスは、ライセンスキーを調べることで判断できます。キーが 難読化された場合、本ガイドの利用を控えてください。

OEM キーの出力例: 0J497-XXXXX-XXXXX-XXXX-0HL0M ←難読化された (例外:キーがOEM Foundationライセンスの場合、本ガイドは適用できます)



- ・SED Clusterであるかの確認
  - SED Clusterの場合、該当ガイドの利用を控えてください。ドライブをunlock 状態にするためのCleanup手順について、予めTACまでご連絡ください。



・FI (UCSM)にてHXサーバを認識・管理していて、且つFI (UCSM) がCluster構成して いることをご確認ください。

※StandaloneモードのFI (UCSM) 構成、もしくはFI (UCSM) 構成無しのCleanupが非サポート

- ・(HX240C-M4S/HXAF240C-M4S non-SED の場合のみ)全ESXiホストへのSSHアクセス 手段を用意してください。
- 備考:

Cleanup後のCluster再インストールは、既存のSCVMが削除され、再構築となるため、工場から出荷された場合のインストールより時間かかります。予めご了承ください。

### Cleanupの流れ

- 1. HX Installerを実行 (※サーバの設定が不足している場合のみ)
- 2. Service Profile適用待ち (※サーバの設定が不足している場合のみ)
- 3. KVMでHX ISOマウント、サーバ再起動
- 4. ESXi Installer起動、 ESXiインストール
- 5. ESXi Networkの設定、Springpath Datastore のCleanup(※Non-SED HX240 M4のみ)
- 6. 全ESXiホストを電源OFF
- 7. UCSMのCleanup
- 8. vCenterのCleanup
- 9. IntersightのCleanup
- 10. HyperFlex Clusterの再インストール

# 1. HX Installerを実行 (※サーバの設定が不足している場合のみ)

- ・本ステップは、すでにService Profileが適用されサーバが起動している場合はスキップし、 Step 3の<KVMでHX ISOマウント、サーバリセット>から続きを実施して下さい。
- ・本ステップはHX Installerを用いてUCSMのポリシーとテンプレート等を展開することで、HX サーバが適切なHX設定で起動してきます。
- ・特別な要件が無ければ、以下のリンクより最新推奨バージョンのHX Installerをご利用下さい。

Cisco HyperFlex Recommended Software Release and Requirements Guide

Cisco HyperFlex Recommended Software Release and Requirements Guide - Cisco

#### 1-1. HX Installerを起動

- ・HX Installerにログインする。
- ・ビルドバージョンを確認する。



#### 1-2. ワークフローを選択

詳細設定オプションより
 「ワークフローをカスタマイズする(I know what I'm doing)」をクリックする。

cisco	HyperFlex-	(ンストーラ							0	
						ワークフロー				
ワー	クフローの選択									
		ť					6		•	
		057	マタの作成 👻				25	ラスタの展開	•	
詳細調	設定オプション	● ワークフロ	コーをカスタマ	マイズする	]					

### 1-3. UCS Manager設定を実行

・UCS Manager設定の実行(Run UCSM Configuration)を選択し、 続行(Continue)をクリックする。

ワークフローの選択			
	UCI Menage留意の第行		
	<ul> <li>ハイバーバイ当該市の第行</li> </ul>		
	□ 165/フトウエアの開始		
	<ul> <li>HKクラスタを作成する</li> <li>HKクラスタの振興</li> </ul>		
≙ 標準ワークフローを書	伝する	載行	
	_		
HyperFlexインス	►-∋ 4.5(2a) ESXI	0	0 0
クフローの選択			
クフローの選択	警告	×	
クフローの選択	警告 インストールまたは応答ワークフローを分割するカスタムオプションを選択しました。RKストレージクラスのの熱が ワークコロードのすべたのスクを完すする必須があります。 ノードが何能データの場所にためしていい場合は、カスタムインストールはサポートされていません。	× 15.09話するには、	
クフローの選択	警告 インストール手たは旅塔フークフローを分割するカスタムオブションを選択しました。HXストレージクラスタの数세 フークフロー和のすべてのタスクを完了する必要件のます。 ノードが様式ータの時代にご知らしている時日は、カスタムインストールは分ボートされていません。 (キャンセル)で意志アークフローに思ります。 (編載して統行でカスタムワークフローを挑好します。	× PE##F51::4.	
クフローの道沢	警告 インストールまたは5歳ワークフローを分割すあかスタムオブションを選択しました。HXストレージクラスタの数件 フークフロー内がすべてのなみなります。 ノードが根数データの増発化に対応している場合は、カスタムインストールはサポートされていません。 (年かったいでまち)ークフローを取引します。 (編載して抵引でカスタムワークフローを抵引します。 キャンセム	× P2#42781:14.	
- クフローの選択	警告 インストールまたは応答フークフローを対象するカスタムオブションを編択しました。HXストレージクラスのの数が フークフロー約のすべてのタスクた方でする必要があります。 ノードが何期データの障害にはだいていても得由は、カスタムインストールはサポートされていません。 (キャンセルで連載ラークフローに思ります。 (確認して続けてウスタムワークフローを続行します。 (確認して続けてウスタムワークフローを続行します。	× 929年19日には、 単立して前行	

### 1-4. UCSM関連設定を入力

UCSM関連の設定を入力し、続行(Continue)をクリックする。

dualti HyperFlex イン	シストーラ	4.5(2a)	ESXI					0	0	0	0	<b>\$</b> ~
クレ	デンシャル			ŧ	ーバの選択				UCSMの設	Έ		
UCS Managerクレデン	ッシャル							設定				*
UCS Managerのホスト名		UCS Managerユ	一ザ名		パスワード							
10.126.69.35		admin					•					
								20	コンフィギ. ニにドラッグア マ	aレーション ンドドロッン マ <b>イル</b> を選	ファイルを するか、ま R R	teta

## 1-4. UCSM関連設定を入力(続き)

- 対象HXサーバを選択し、続行 (Continue)をクリックする。
  - (サーバがunassociated ステータス で表示される)。
  - ※右は、1台のサーバで設定が不足していた際の例です。





## 1-4. UCSM関連設定を入力(続き)

- ・必須項目("!"表記の項目、 例えばhx-inband-mgmtの VLAN ID等)を入力する。
- ・開始(Start)をクリックする。

クレデン	シャル		<del>9</del> –70	運択		UCSMØ	定		
VLAN の設定					設定				*
ハイバーバイザとHyperFlex管理	用のVLAN		HyperFlexストレージト	ラフィック用のVLAN	クレデ	ンシャル			
VLAN名	VLAN ID		<b>VLAN名</b>	VLAN ID	UCS Ma	inager@7tC	K1-8	10.126.	69.35
hx-inband-mgmt	2022		hx-storage-data	2	UCS Ma	inagerユー1	f名	a	admin
					サーバの	の選択			
VM vMotion用のVLAN			VMネットワーク用のVL	AN .	Server 1	1 V	(ZP23130HR)	/ HXAF240C-	MSSX
VLAN名	VLAN ID		VLAN名	VLAN ID					
hx-vmotion	3		vm-network	1155					
MACブールのプレフィックス									
Cisco IMCの'hx-ext-mgm IPブロック	ıt' IPプール	ブネットマスク	7	- Þ914					
Cisco IMCの'hx-ext-mgm IPプロック 10.126.69.37-40	rt' IPプール <del>サ</del>	ブネットマスク 255.255.255.224	9	ートウェイ 10.128.09.33					
Cisco IMCの'hx-ext-mgm IPプロック 10.128.89.37-40 Cisco IMCアクセス管理(プ ・アウトオブバンド © > ISCSI ストレージ	ピ ドブール サニ マウトオブバンドミ メンパント 0	7ネットマスク 288-285-286-224 またはインバンド ©	)	ートウエイ 10.126.69.33					
Cisco IMCの'hx-ext-mgm IPブロック 10.120.00.37-40 Cisco IMCアクセス管理(7 ● アラトオブバント © > ISCSI ストレージ > FC ストレージ	* (Pブール 	7ネットマスク 255-255-255-224 また(はインノ(ンド ©	)	ートウェイ 10.128.00.33					
Cisco IMCの'hx-ext-mgm IPブロック 10.120.00.37-40 Cisco IMCアクセス管理(7 ● アウトオブバンド © > iSCSI ストレージ > FC ストレージ 詳細	* (Pブール 	7ネットマスク 255 255 255 224 また(はインノ(ンド ©	)	ートウェイ 10.128.00.33					
Cisco IMCの'hx-ext-mgm IPブロック 10.120.00.37-40 Cisco IMCアクセス管理(7 ・ アラトオブバント © > ISCSI ストレージ > FC ストレージ 詳細 UCSサーバファームウェアバージョ:	* (Pブール 50 	7ネットマスク 255-255-256-224 また(はインノ(ンド © perFlexクラスタ&	<i>ب</i> 	-トウエイ 10.120.00.33					_

# 2. Service Profile適用待ち (※サーバの設定が不足している場合のみ)

- ・UCSMより、Service Profileが適用されていることを確認する。
- ・HX Installerの処理は最後まで実行を待つ必要はありません。以下画面の"Assoc State"の ステータスが"Associated"となっていれば、Step3へ進んでください。

uluulu cisco	UCS Manager		🛞 👽 🐴 🚯 0 6 3 1			
黒	All	Servers / Service Profiles				
	▼ Servers	Service Profiles				
	<ul> <li>Service Profiles</li> </ul>	All Failed Active	Passive Disassociated	Pending Hierarchical Pending Acti	vities	
<b>6</b> 6	▼ root	Ty Advanced Filter	🖶 Print			¢
=	▶ s1	Name	User Label	Overall Status	Assoc State	Server
	▶ s2	Service Profile rack-unit-1	HyperFlex cluster	↑ ок	Associated	sys/rack-unit-1
Q	▶ s3	Service Profile rack-unit-2	HyperFlex cluster	↑ ок	1 Associated	sys/rack-unit-2
	▶ s4	Service Profile rack-unit-3	HyperFlex cluster	↑ ок	Associated	sys/rack-unit-3
	<ul> <li>Sub-Organizations</li> </ul>	Service Profile rack-unit-4	HyperFlex cluster	↑ ок	Associated	sys/rack-unit-4

### 3. KVMでHX ISOマウント、サーバ再起動

#### ・UCSMより全ての対象HXサーバに、KVM ConsoleからKVMを起動する。

սիսիս	LICS Manager	😣 👽 📤	<b>()</b>			cisco UCS KVM	E = C & % D ? G
CISCO.	000 Manager	0 13 3				KVM Console Properties	
_			, Sub-				
m	All	Servers / Service P / ro	oot / Organ	nizat / HX-F4	Se		
	▼ Servers	< General Storage	Netwo	rk iSCSI vNIC	s	VMware ESXi 6.7.0 (VMKernel Release Build 17780523)	
	<ul> <li>Service Profiles</li> </ul>	Fault Summary			F	Cisco Systems Inc HXAF240C-MSSX	
格	▼ root				_	766.7 GiB Menory	
	▶ s1	8 👽		•			
	▶ s2	0 7	0	0			
n	▶ s3	Ctotuo					
별	▶ s4	Status					
-	<ul> <li>Sub-Organizations</li> </ul>	Overall Status : 🛉 OK					
=	▼ HX-F4	⊕ Status Details				lo manage this host go to: http://kx3-esxi-n01/ http://k10.125.65.41/ (STATIC)	
	<ul> <li>rack-unit-1 (HyperFlex cluster)</li> </ul>						
	rack-unit-2 (HyperElex cluster)	Actions			<u> </u>		
20	<ul> <li>Flock and 2 (HyperFlox cluster)</li> </ul>				/		
	<ul> <li>rack-unit-3 (HyperFlex cluster)</li> </ul>						
	<ul> <li>rack-unit-4 (HyperFlex cluster)</li> </ul>	Boot Server					
	<ul> <li>Sub-Organizations</li> </ul>	Shutdown Server					
	▼ Service Profile Templates	Reset					
	▼ root	KVM Console >>			-	(F2) Custonize System/View Logs	(F12) Shut Down/Restart

### 3. KVMでHX ISOマウント、サーバ再起動(続き)

・Install用のHX ISOをマウントする。

例:HX-ESXi-6.7U3-17700523-Cisco-Custom-6.7.3.14-install-only.iso



## 3. KVMでHX ISOマウント、サーバ再起動(続き)

#### ・サーバを再起動する。



#### 3. KVMでHX ISOマウント、サーバ再起動(続き)

・サーバ起動中、<F6>キー押し、Boot Menuを開く。

・ブートデバイスとして'Cisco KVM-Mapped vDVD1.24'を選択する。

cisco: UCS	S KVM		CISCO UCS KVM
KVM Console	Properties		KVM Console Properties
	allalla		
	CISCO		
	Copyright (c) 2021 Cisco Systems, Inc.		
	Press (F2) BIOS Setup Press (FB) CIMC Setup Bios Version : C240K5.4.1.3i.0.0713210713 Platform ID : C240K5		
	Processor(s) Intel(R) Xeon(R) Platinum 8160M CPU @ 2.10GHz Total Memory = 768 GB Effective Memory = 768 GB Memory Operating Speed 2666 Mhz		Please select boot device:
	Cisco IMC IPv4 Address : 0.0.0.0 Cisco IMC MAC Address : 2C:4F:52:2B:76:0A		M.2-SLOT-1: Micron_S100_MTFDDAV UEFI: Built-in EFI Shell Enter Setup
		92	↑ and ↓ to move selection ENTER to select boot device ESC to boot using defaults

#### 4. ESXi Installer起動、 ESXiインストール

- ・ HyperFlex Converged Node を選択する。
- ・ポップアップに記載の通り、ERASE を入力、Enterキーを押す。

			alulu az			
VM Console	Properties		cisco. UC	Droperties		
T DO NO Se Enter	Sele Exit Press DT USE FOR	HyperFlex ESXi Installer - 6.7 U3 (Build 17700523) A as Locall Option (DO NOT USE FOR UPCRADE): HyperFlex Converged Node - HX PIDs Only Compute-Only Node - Install to SD Caras/n.2 SSD Compute-Only Node - Install to Local Disk (SATA/SAS/MegaRAID) Compute-Only Node - Install to Remote Disk (SATA/SAS/MegaRAID) Fully Interactive Install (TAC Use Only) and boot according to BIOS F12 for Full Help UPGRADE. THI & WILL DESTROY THE NODE. Enter ERASE (all CAPS) and hit ENTER. all CAPS to confirm and agree to start the installation.	KVM Console	Properties           /b.b00         /jamps rt.gz           /b.brogs rt.gz         //cscngts.gz           /b.brogs rs.gz         //cscnbsts.b00           /b.brogs rs.b00         //oscnbsts           /b.brogs rs.b00         //oscnbsts           /b.brogs rs.b00         //oscnbsts           /b.brogs rs.b00         //oscnb00           //uc_and.b00         //uc_and.b00           /vis.v00         /ssc.b00           /vis.v00         /ssc.b00           /ssc.b00         /ssc.b00	Loading ESXi installer	
Th1S 15	s a DESTRU	ICTIVE process and cannot be reversed. Ensure a re-image is required.				

UCS KVM

#### 4. ESXi Installer起動、 ESXiインストール(続き)

- ・インストールが開始されます。処理の途中で以下のような警告メッセージが表示される場合がありますが、特に操作する必要はありません。
- ・再インストールが完了するまでに2回の再起動が自動で実施されます。

The following warnings were encountered while preparin g the system Could not bring up network (Did not get an IP Address from DHCP server)	ESXi 6.7.0 has been installed successfully. ESXi 6.7.0 will operate in evaluation mode for 60 days. To use ESXi 6.7.0 after the evaluation period, you must register for a VMware product license. To administer your server, navigate to the server's hostname or IP address from your web browser or use the Direct Control User Interface.	The following warnings were encountered while preparin g the system Could not bring up network (Did not get an IP Address from DHCP server)
	Remove the installation media before rebooting.	
	Reboot the server to start using ESXi 6.7.0.	
	There were warnings. See log files.	
Wait or press <enter≻ continue<="" td="" to=""><td>Wait or press (Enter) to continue</td><td>Hait or press Œnter&gt; to continue</td></enter≻>	Wait or press (Enter) to continue	Hait or press Œnter> to continue

### 4. ESXi Installer起動、 ESXiインストール(続き)

- ・ DCUIが表示されればインストール成功。
- ・再インストール完了直後は、<u>http://0.0.0.0</u>と表示 されるが、数分後、DHCPからIPアドレスを取得 しようとするために、一度画面が切り替わりま す。DHCPに関するエラーメッセージが表示され ていても問題ない。
- vSphere Web Clientで応答なしと表示。





# 5. ESXi Network の設定、Springpath Datastore の Cleanup (※Non-SED HX240 M4のみ)

- 1. F2 キーを押下し、DCUIにログインする(root/Cisco123)。
- 2. VLAN にてVLANを設定する。
- 3. Configure Management Network > IPv4を選択する。
- 4. Set to Staticを選択、IP, Netmask及びGWを設定する。
- 5. DNS Configuration でDNS, Hostnameを設定する。
- 6. Custom DNS suffixesでsuffixesを設定する。
- 7. Esc キーを押下後、Yを選択して、設定保存とnetworkingを再起動する。
- 8. 対象ホストへのPing疎通を確認、およびvSphere Web UIでアクセス可能 なことを確認する。



аррго	priate settings.	
IPv4 Configuration		
This host can obtain network settings autom includes a DHCP server. If it does not, the	atically if your network following settings must	
specified: () Disable IPv4 configuration for manageme () Hen dynamic IBv4 address and network con (o) Set static IPv4 address and network con	nt network of lowest lon f iguration	
specified: () Disable IPv4 configuration for manageme () Hen dumamic IBv4 address and network con (0) Set static IPv4 address and network con IPv4 Address	nt network of louration figuration f 1.15.98.61	1

#### 5. ESXi Network の設定、Springpath Datastore の Cleanup (※Non-SED HX240 M4のみ) (続き)

- 1. 対象ホストにvSphere Client でログインする。
- Configurationタブ > ストレージ > データスト アブラウザ をクリックする。
- stCtIVM-XXXXフォルダを選択し、x削除をク リックする。
- 注意: ここでは、SCVMのVMフォルダを削除し、 データストア自体を削除しないこと



Pwブロード ■ 4 <sup>d</sup>	シロード 風洞除 国際制	Danke 🎦	マレクトリの作成   🥂 東新	_
≣ Spingpah05+CH	Jocker Jocker Jodst VSphare-HA wmkdump			
SpringpathDS-FCH204	5V0HT]			_
				NUS



#### 5. ESXi Network の設定、Springpath Datastore の Cleanup (※Non-SED HX240 M4のみ) (続き)

- Springpath DatastoreがCleanupされたことを確認する。
- ・ [更新]をクリックし、各ホスト上のSpringpathDSに十分な空きストレージがあることを確認する。

] hx2-cluster-esxi01.jpsvhx.com - ストレージ							
<b>データストア</b> アダプタ デバイス 永続的なメモリ							
121 新しいデータストア 📧 容量の増加   🔐 仮想マシンを登録 词 データストア	ブラウザ 🛛 🥑 更新	アクション					<b>Q</b> 検索
名前	ドライブのタイプ 🗸 🗸	キャパシティー・	プロビジョニング済み 🗸	空き容量 ~	タイプ 〜	シンプロビジョニング 🗸	アクセス ~
SpringpathDS-FCH2045V0HT	SSD	111.75 GB	8.5 GB	103.25 GB	VMFS5	サポート対象	単一
							1 ፖイテム

### 6. 全ESXi ホストを電源OFF

- UCSMより、全てのService Profile を選択し、右クリックし、shutdown serverをクリックし、Graceful shutdown OS等にチェックして"OK"ボタンを押下する。
- ・しばらく待ち、Power OFF状態となったことを確認する。

lialia lisco.	UCS Manager					<b>(X)</b> 0	👽 🔔 🤇 6 3	<b>)</b> 1
#. 8	All • Equipment	Equipment	ed Filter + Export	vers				
_	Chassis	Name	Overall Status	PID	Model 🔺	Serial	Profile	User La
00	Enclosures	Server	1 Fower Off	HXAF240C-M5SX	Cisco HX	WZP231	org-root/	
<u>=</u>	FEX	Server	2 Fower Off	HXAF240C-M5SX	Cisco HX	WZP231	org-root/	
	✓ Servers	Server	3 Fower Off	HXAF240C-M5SX	Cisco HX	WZP231	org-root/	
▣	<ul> <li>Server 1</li> </ul>	Server	4 Fower Off	HXAF240C-M5SX	Cisco HX	WZP231	org-root/	
_	Server 2 10			1				
	<ul> <li>Server 3</li> </ul>							
	<ul> <li>Server 4</li> </ul>							



#### 7. UCSM の Cleanup

- ・Servers タブ > root > Sub-organizations配下のClusterに定義したService Profile を右クリックし、削除する。
- その後、全てのServerがUnassociatedのステータスになるまで暫く待ちます。
   <u>\*Networkの再利用予定がない場合のみ、以下手順をご実施ください。再利用の場合、実施不要です。</u>
  - LANタブ> Pools > root > IP Pool ext-mgmtを右クリックし、poolを削除する
  - LANタブ>Lan Cloud > VLANsで、すべてのVLAN(Vlan1除き)を削除する



### Option: UCSM を工場出荷状態にする

※対象UCSMで他のサーバも管理している場合、本手順を実施しないでください。 ※完全に新しい環境で再インストールする場合のみ、UCSMの設定を工場出荷の 状態にします。

- UCSMのVIPにSSH接続し、 "connect local-mgmt"を打ち、"erase configuration"を入力します。コマンド実行後、FIの再起動が完了するのを待ちます。
- VIPにSSH接続できない場合、各FIの物理IPにSSH接続し、"erase configuration"をご実施ください。

# connect local-mgmt (local-mgmt)# erase configuration

#### 8. vCenter $\mathcal{O}$ Cleanup

- ・再インストールの際は、新しいvCenterを用意して使用することをお勧めします。
   POC(Proof of Concept、検証環境)の場合、新しいvCenterの構築がより効率的で、事前にス ナップショットを作成することで、 HyperFlex のインストール後にそのスナップショット で元の設定に戻すこともできます。
- ・スナップショットの代わりに、評価ライセンスの期間が60日間あるため、POCごとに vCenterを再デプロイできます。
- ・スナップショットも新しいvCenterも使用できない場合は、古いVCをクリーンアップでき ますが、時間を要したり、予想外のエラーが発生することもあります。

#### 注意点

稼働中のHX ClusterのプラグインをCleanupするために、このvCenter Cleanup手順を使用しないでください。これによって、ストレージの完全停止が発生します。セカンダリ HX クラスタが 同じ VC を共有しているの場合、TAC 支援なしでのCleanupを実施しないでください。

### 8. vCenterの Cleanup(続き)

#### 手順の纏め

- 1. admin権限でhttps://<vCenterのIP>/mob/ にログインする。
- 2. Content > ExtensionManager をクリックする。
- 3. 以下3つのエントリーを確認する。 com.cisco.hx com.springpath.sysmgmt com.springpath.sysmgmt.<id>
- 4. 手順3で確認したエントリーを削除する。
- 5. 削除を反映させるため、vCenterにssh接続し、サービスを再起動する。
- 6. 5分程度待ち、vCenterヘログインし直し、pluginが削除されたことを確認する。
- 7. HX Clusterを削除する

#### 8. vCenter の Cleanup(続き)

- 1. admin権限でhttps://<vCenterのIP>/mob/ にログインする。
- 2. Content > ExtensionManager をクリックする。

/			Home				
Home	U ▲ 1719	ノイ体設なし   <del>https</del> ://jnx3-vc.cisco.com/mob/ A <sup>*</sup> aの 、	Data Object Type: Se Parent Managed Object Property Path: content	erviceContent ID: ServiceInstance t			
Managed	Obiect Type	: ManagedObjectReference:ServiceInstance	Properties				
Managed	Object ID: Se	rviceInstance	NAME	туре	VALUE		
			about	AboutInfo	about		
			accountManager	ManagedObjectReference:HostLocalAccountManager	Unset		
Properties			alarmManager	ManagedObjectReference:AlarmManager	<u>AlarmManager</u>		
NAME	ТҮРЕ	VALUE	authorizationManager	ManagedObjectReference:AuthorizationManager	<u>AuthorizationManager</u>		
	Canability		certificateManager	ManagedObjectReference:CertificateManager	<u>certificateManager</u>		
capability	Capability	<u>capadility</u>	clusterProfileManager	ManagedObjectReference:ClusterProfileManager	<u>ClusterProfileManager</u>		
content	ServiceContent	<u>content</u>	complianceManager	ManagedObjectReference:ProfileComplianceManager	MoComplianceManager		
serverClock	dateTime	"2022-04-24T13:45:56 4622237"	cryptoManager	ManagedObjectReference:CryptoManagerKmip	<u>CryptoManager</u>		
Serverclock	uaternine	2022-04-24113.43.30.4022232	customFieldsManager	ManagedObjectReference:CustomFieldsManager	CustomFieldsManager		
			customizationSpecManager	ManagedObjectReference:CustomizationSpecManager	CustomizationSpecManager		
			datastoreNamespaceManager	ManagedObjectReference:DatastoreNamespaceManager	DatastoreNamespaceManager		
			diagnosticManager	ManagedObjectReference:DiagnosticManager	<u>DiagMgr</u>		
			dvSwitchManager	ManagedObjectReference:DistributedVirtualSwitchManager	<u>DVSManager</u>		
			eventManager	ManagedObjectReference:EventManager	<u>EventManager</u>		
			extensionManager	ManagedObjectReference:ExtensionManager	ExtensionManager		

### 8. vCenterの Cleanup(続き)

3. 以下3つのエントリーを確認する。

com.cisco.hx

com.springpath.sysmgmt

com.springpath.sysmgmt.<id>

operties			
ме	ТҮРЕ	VALUE	
ktensionList	Extension[]	extensionList["com.ymware.vim.sms"] extensionList["virtualCenter"] extensionList["VirtualCenter"] extensionList["com.ymware.vim.stats.report"] extensionList["com.ymware.vim.sps"] (more)	Extension Extension Extension Extension

Home	com.springpath.sysmgmt	1/2	~	$\sim$	$\times$	
Managed Object Type: ManagedObje	сткетегепсе: Ехте	ensio	пма	пад	јег	
Managed Object ID: ExtensionManager						

Properties			
NAME	ТҮРЕ	VALUE	
extensionList	Extension[]	extensionList["com.vmware.vim.sms"]	Extension
		extensionList["com.vmware.vim.vsm"]	Extension
		extensionList["VirtualCenter"]	Extension
		extensionList["com.vmware.vim.stats.report"]	Extension
		extensionList["com.vmware.vim.sps"]	Extension
		extensionList["com.vmware.vim.vcha"]	Extension
		extensionList["hostdiag"]	Extension
		extensionList["com.vmware.vim.ls"]	Extension
		extensionList["com.vmware.vcenter.vmtx"]	Extension
		extensionList["com.cisco.hx"]	Extension
	•	extensionList["com.vmware.vsphere.client.h5vsan"]	Extension
	l (	extensionEist["com.vmware.vrops.install"]	Extension
		extensionList["com.springpath.sysmgmt"]	Extension
		avtensionList["com vmware vephere client"]	Extension
		<pre>extensionList["com.springpath.sysmgmt.domain-c132"]</pre>	Extension
	-	extensionList["com.vmware.vim.eam"]	Extension
		extensionList["com.vmware.cl"]	Extension
		extensionList["com.vmware.rbd"]	Extension
		extensionList["com.vmware.vmcam"]	Extension
		extensionList["com.vmware.ovf"]	Extension
		extensionList["com.vmware.vcIntegrity"]	Extension
		<pre>extensionList["com.vmware.vsan.health"]</pre>	Extension
		extensionList["com.vmware.vsan.dp"]	Extension
		extensionList["com.vmware.vcenter.iso"]	Extension
		(less)	

#### 8. vCenter の Cleanup(続き)

## 4. Unregister Extensionをクリックし、手順3で確認した各エントリーをコピー&ペーストし、"Invoke Method"をクリックする。

RETURN TYPE	NAME
Extension	FindExtension
string	GetPublicKey
ExtensionManagerIpAllocationUsage[]	<u>QueryExtensionIpAllocationUsage</u>
ManagedObjectReference:ManagedEntity[]	<u>QueryManagedBy</u>
void	RegisterExtension
void	SetExtensionCertificate
void	<u>SetPublicKey</u>
void	<u>UnregisterExtension</u>
void	UpdateExtension

#### void UnregisterExtension

#### Parameters

NAME	ТҮРЕ	VALUE
extensionKey (required)	string	com.springpath.sysmgmt
		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
		Invoke Metho
Parameters		
Parameters NAME extensionKey (required)	TYPE string	com.springpath.sysmgmt.domain-c132
Parameters NAME extensionKey (required)	TYPE string	com.springpath.sysmgmt.domain-c132

#### void UnregisterExtension

#### 

#### 8. vCenterの Cleanup(続き)

- 5. 削除を反映させるため、vCenterのサービスを再起動する。
  - VCSAの場合、ssh接続し、"service vsphere-client restart"を実行してください。

ssh root@xx.xx.xx Command> shell Shell access is granted to root root@jhx3-vc [~]# service vsphere-client restart

#### (参考)

- ・コマンドの実行に失敗する場合は、以下のコマンドもお試しください。
- # service-control --stop vsphere-client
- # service-control --start vsphere-client
- ・# reboot (※vCenterの再起動。最終手段)

- Windows版vCenterの場合、"services.msc"を開き、VMware vSphere Web Client サービス を再起動してください。

#### 8. vCenter の Cleanup(続き)

6. 5分程度待ち、vCenterヘログインし直し、pluginが削除されていることを確認する。

vSphere Web Client の管理>ソリューションプラグイン>クライアントプラグイン にて、
 HyperFlex Data Platform のプラグインが削除されたことを確認します。

vm vSphere Client	Menu 🗸	Q Search in all environment								
Administration										
<ul> <li>Access Control</li> </ul>	Clie	ent Plug-Ins								
Roles										
Global Permissions	EN	ENABLE DISABLE								
* Licensing			1							
Licenses		Name	Vendor	Version	Description					
+ Solutions										
Client Plug-Ins		A 101	104	67.0.000	104-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-0					
vCenter Server Extensions	0	VMware vRops Client Plu gin	VMware, Inc.	6.7.0.48000	VMware vRops Client					
<ul> <li>Deployment</li> </ul>	0	VMware vSAN H5 Client	VMware Inc	67048000	VMware vSAN H5 Clie					
System Configuration		Plugin	errirer G, me.	5.7.5.40000	n					
Customer Experience Improve	0	\land VMware Update Manage	VMware	6.7.0.42257	VMware Update Man					
* Support		r			ML client					
Upload File to Service Request	0	🖄 VMware Update Manage	VMware	6.7.0.42257	Update Manager clier					
		r								
Users and Groups	0	VMware vSAN Web Clien	VMware, Inc.	6.7.0.48000	VMware vSAN Web C					
Configuration	_	t Hughi			a					
<ul> <li>Certificates</li> </ul>										

Certificate Management

#### 8. vCenter の Cleanup(続き)

- 7. 該当HXクラスタ上で右クリックをし、削除を実行する。 (Top LevelのData Centerを誤って削除しないでください。 これは、同一DC配下に複数HX Clusterが存在していた場合を想定した場合 の注意事項)
- ・vCenter再インストールした場合は、この手順は不要。

vm vSphere Client Menu v Q Search	in all environments	C (?) v Administrator@VSPHERELOCAL v (:
	HX240M5-DC ACTIONS ~	Ville Detectore Networks Undetec
► HX240M5-DC	Hosts: 0 Virtual Machines: 0 Clusters: 0 Networks: 0 Datastores: 0	CPU Free: 0 Hz Used: 0 Hz Capacity: 0 Hz Used: 0 Hz Capacity: 0 Hz Used: 0 B Capacity: 0 B Storage Free: 0 B Used: 0 B
	Custom Attributes	gS Assigned Tag Category Description



#### 9. Intersight の Cleanup

・ Intersight にログインする。

https://intersight.com/



#### 9. Intersightの Cleanup(続き)

- ・CONFIGURE(設定) > Profiles(プロファイル) を選択し、対象のHyperFlex Cluster Profileにチェックをつける。
- ・Unassign(割り当て解除)を選択する。

≡	رابيان Intersight	CONFIGURE >	Profiles				Û	. 🛚 82 🔺 89 🛛 🖓	<b>¢</b> 19	٩ {	8 0	) Fengling Liu 🖉	FDOF	0	0.01	
	MONITOR	HyperFlex Clu	ster Profil	es U	JCS Chassis Profiles	UCS Domain Profiles	UCS Server Profiles Kuberr	etes Cluster Profiles			Create Hyp	perFlex Cluster Profile	Unassign Se	vers		
٢	OPERATE V												Unassigning will rer	nove all servers from	the cluster profile, Fo	more
*	Configure ^	* All HyperFle	MHyperFlex Cluster Pi +										information on the	mpact of this operat	ion, see Help Center.	
	Orchestration	U Nama	<u> </u>		Типо	* Nodos	Statue	Assigned To	Description		Lact Unda				Unassig	m
	Profiles				5)90	A	O OK		Description		7 minutoe	2200				
	Templates				5005						7 minutes					
	Policies				EDGE		J Not Complete				an hi Un	nassign				
									test		Apr: Clo	one				

#### 9. IntersightのCleanup(続き)

- ・対象のHyperFlex Cluster ProfileがNot Assigned となっていることを確認する。
- ・ゴミ箱マークを選択し、Delete(削除)を実行する。
   ※対象Profileを再利用予定のない場合のみ

≡	່ Intersight										
<u>00o</u>		HyperFlex Cluster Profiles									
×		* All HyperFlex Cluster Pr ③						6 items found	12 v p		
							Assigned to				
	Fulcies		Deleter	hyperFlex Gluster Pl	ronie					Apr 26, 2022 12	2:08 AM •••
			HyperFlex C	Cluster Profile "HX-F4" will be o	deleted.					Mar 14, 2022 9:	:48 AM •••
						elete		HX 2 node E		May 6, 2021 12:	:30 PM •••
P.										Apr 26, 2021 10	):07 AM •••

#### 9. IntersightのCleanup(続き)

・ADMIN(管理) > Targets(ターゲット)より対象ClusterをUnclaim(要求解除)する。



#### 9. Intersightの Cleanup(続き)

・オプション:UCS Domain の登録解除

※対象ノードに再デプロイ予定の場合、こちらを実施しないでください



#### 10. HyperFlex Cluster の再インストール

- ・HyperFlex Clusterの再インストール方法として、以下2通りとなります。
  - Intersight より
  - HX Installer より

#### 10. HyperFlex Cluster の再インストール(via Intersight)

 CONFIGURE(設定) > Profiles(プロファイル) > Create HyperFlex Cluster Profile(HyperFlexクラスタ プロファイルの作成) で再インストールしてください。

≡	راسان Intersight	CONF	IGURE > Profiles			🗘 🗷 75 🔺 5	6 🛛 🖓 📢 1	9 <i>\</i> છ	⑦ Fengling	j Liu 🖉
<u>00o</u>	MONITOR	Нур	perFlex Cluster Profiles	UCS Chassis Profiles	UCS Domain Profiles	UCS Server Profiles	Kubernetes Cluster	Profiles	eate HyperFlex Cluster P	Profile
	OPERATE ^									
	Servers	* A	Il HyperFlex Cluster Pr	⊗ +			Export 5 items f	ound 11 v per pa	n II nf1	
	Chassis			Turne		04-14-1				
	Fabric Interconnects		Name	⊺уре ⇒	Nodes	Status	Assigned to	Description	Last Update 🤤	
	Networking			EDGE		<ul> <li>Not Complete</li> </ul>			May 24, 2022 8:06	
				FI		Not Complete		test	Apr 26, 2022 12:08	
				EDGE				HX-2Edge-1	Mar 14, 2022 9:48	
	Storage			EDGE				HX 2 node Edge	May 6, 2021 12:30	
	Virtualization			FI		🛛 ок			Apr 26, 2021 10:07	
	Kubernetes								[[] [] 1 of 1	
×	CONFIGURE ^									
	Orchestration									
	Profiles									

#### 10. HyperFlex Cluster の再インストール(via Intersight) (続き)



- ・ factory default password にチェック
- Clean up Disk Partitions にチェック

(以前はチェックを入れる必要がありましたが、現在はデフォルトで実施されます)

# 10. HyperFlex Clusterの再インストール(via Intersight)(続き)

 Cluster Configuration タブの The hypervisor on this node uses the factory default password にチェックを 入れます。

	cisco Intersight	CONFIGURE > Create HyperFlex Clu	uster Profile				💭 🖪 75 🔺 49	$\square$	<i>¶</i> ‡ 19		
<u>00o</u> 1	MONITOR	⊡ Progress			Step 3						
Ŵ	OPERATE ^	(1) General		{Õ	Cluster C	Configuration					
	Servers Chassis	2 Nodes Assignment			configured per configuration	olicies for your HyperFlex Cluster n and click Next.					
	Fabric Interconnects	3 Cluster Configuration									
	Networking	4 Nodes Configuration		— Security							
	HyperFlex Clusters	5 Summary		Hypervisor Admin * root	0						
	Storage	6 Results									
	Virtualization			The hypervisor on this node uses the factory default password O							
	Kubernetes			Hypervisor Password *	© 0	Hypervisor Password Conf	irmation *			• •	
*	CONFIGURE ^										
	Orchestration			Controller VM Admin Password *	© 0	Controller VM Admin Pass	word Confirmation *			• •	
	Profiles										

#### 10. HyperFlex Clusterの再インストール(via HX Installer)

・HX Installer にログインし、クラスタの作成(Create Cluster) > 標準クラスタ(Standard Cluster) を選択し、必要な項目を記入し、再インストールしてください。

ches ()perto			222		
	5-9				
ワークフローの過	<b>進</b> 択				
			•		
	クラスタの作成            構成            構成	95290888 ·			
	エッジクラスタ ストレッチクラスタ				
詳細設定オプショ	コン 🔒 ワークフローをカスタマイズする				

#### 10. HyperFlex Clusterの再インストール(via HX Installer) (続き)



- ・factory default password にチェック
- ・Clean up Disk Partitions にチェック

#### 10. HyperFlex Clusterの再インストール(via HX Installer) (続き)

・ハイパーバイザの設定項目にて「このノード上のハイパーバイザは、 工場出荷時のパスワードを使用します(factory default password)」に チェックをつける。

ハイパーバイザのクレデンシャル

#### 管理者ユーザ名

root

このノード上のハイバーバイザは、工場出荷時のバスワードを使用します。

工場出荷時のパスワードを変更する必要があります。ハイパーバイザの新しいパスワードを入力してください。

新しいパスワード		新しいパスワードの確認		
	$\odot$		•	

#### 10. HyperFlex Clusterの再インストール(via HX Installer) (続き)

・クラスタの設定(cluster configuration)の設定項目にて「ディスク パーティションのクリーンアップ(Clean up Disk Partitions)」に チェックを<mark>必ず</mark>つける。



ılıılı cısco